

日本造園学会
企画委員会
緊急フォーラム



全国大会のご案内（造園学会 HP）
<http://www.jila-zouen.org/>

これからの 都市公園緑地の 整備・管理を考える

昨今の公園緑地をめぐる制度改革を契機に

主催（公社）日本造園学会企画委員会
共催（一社）ランドスケープコンサルタンツ協会
後援（一社）日本公園緑地協会

2018年 5月27日（日）
（平成30年度日本造園学会全国大会3日目）

11:45-14:15

京都大学農学部総合館 w106
吉田キャンパス北部構内：京都市左京区北白川追分町

平成29年度に都市公園法、都市緑地法が改正され、都市公園における民間資金を活用した整備・管理（Park-PFI）や、民有地の公共的な緑地としての整備・管理（市民緑地認定制度）にかかわる制度的な枠組みが大幅に改訂された。それは、都市の公園緑地の整備・管理に新たな可能性を拓くものであるとともに、新たな枠組みへの適応に遅れた主体にとっては、自らの職域の縮退を余儀なくされる脅威ともなり得る。本緊急フォーラムでは、まず昨今の制度改革の要点を確認した後、先行事例の報告をもとに、これからの都市公園緑地の整備・管理の方向性を展望し、さらに制度改革に対する実務的な対応として、（一社）ランドスケープコンサルタンツ協会による新たな研究会の設立を報告いただく。

1. 開催趣旨 横張 真（東京大学）
2. 公園緑地にかかわる制度改革の要点 町田 誠（国土交通省）
3. 事例1：大阪城公園パークマネジメント 米田巳智泰（大阪城パークマネジメント（株））
4. 事例2：カシニワ制度と市民緑地認定制度 南條洋介（柏市）
5. ランドスケープ経営研究会の設立について 萩野一彦（プランニングネットワーク）
植田直樹（三菱地所設計）
Park-PFI 推進支援ネットワークの設立について 橋 俊光（日本公園緑地協会）

6. ディスカッション



JR京都駅から市バス17系統「京都駅」→「京大農学部前」下車（約30分）
阪急河原町駅から市バス17系統「四條河原町」→「京大農学部前」下車（約20分）
京急出町柳駅から徒歩（約15分）